



# 朱三学校だより

## 特別号

### 全国学力学習状況調査結果特集

平成29年10月19日  
京都市立朱雀第三小学校  
校長 小林 一弘

Tel 312-3203

学校教育目標

**協働・挑戦・前進**

<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/suzakudai3-s/>

## 平成29年度 全国学力学習状況調査の結果

4月18日に、本校6年生47名を対象に実施された「全国学力学習状況調査」の結果がまとまりました。本調査は、国語と算数の2教科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されています。その結果から、学力の様子や生活習慣についてなど、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

### 総合結果（国語・算数）

国語A・B、算数A・Bのすべての科目において全国・京都府平均を上回りました。特に国語A・Bの結果に比べて、算数A・Bの結果の方が、全国・京都府平均を大きく上回っていました。また、無回答率は、ほとんどの問題で全国・京都府平均より低い結果でした。これは、多くの児童が、最後まであきらめずに問題に取り組み、難しい問題でも解決しようとする姿勢がよく表れている結果であったといえます。

### 国語科より

ほとんどの問題において全国・京都府平均を上回っていました。特に、国語Bの「自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉える」問題（設問3-2）では、全国・京都府平均を大きく上回り、話し合いにおける発言の意図を捉える力がついてきていることがわかりました。

しかし、手紙の後付けに必要な日付・署名・宛名の書く位置を選択する問題や、俳句の情景を捉える問題の正答率が低くなっている状況が見られました。

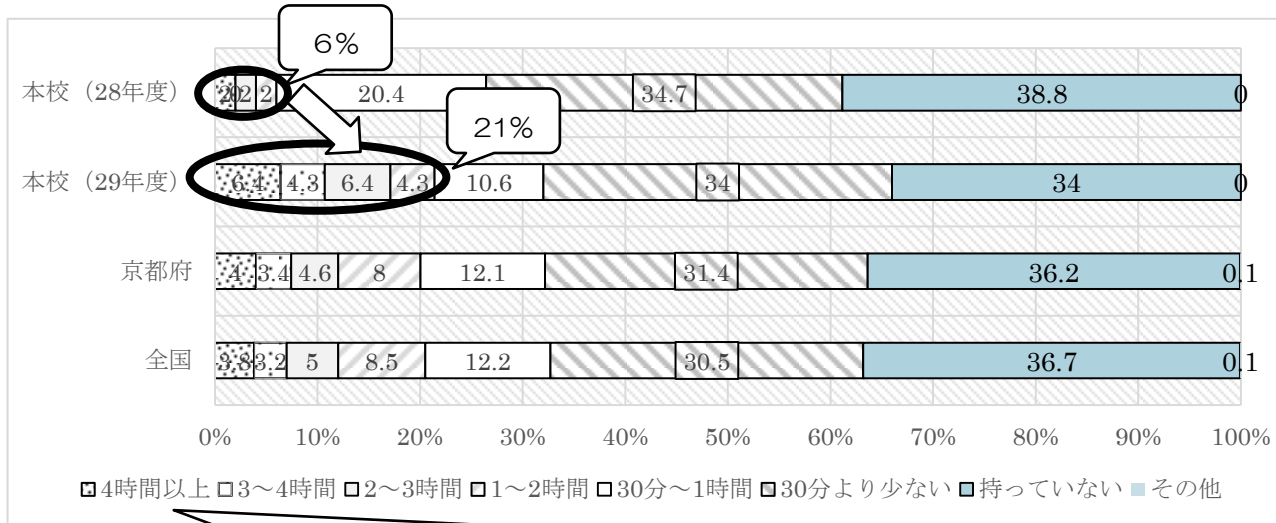
### 算数科より

全体的によくできているといえます。特に、算数Bの「資料から必要な数値を選び、その求め方と答えを記述する」問題（設問2）では、全国・京都府平均を大きく上回っていました。

しかし、「8と12の最小公倍数を求める問題」や「高さが等しい平行四辺形と三角形から、平行四辺形の面積の半分の面積である三角形を選ぶ問題」は、全国・京都府平均を下回っている状況が見られました。

## 児童質問紙調査から

Q 普段（月～金曜日），1日当たりどれくらいの時間，携帯電話やスマートフォンで通話やメール，インターネットをしますか。（携帯電話やスマートフォンのゲーム時間は除く）



「1日当たりのメールやインターネットの時間」は，28年度に比べて増加しています。28年度では，1日1時間以上と答えている児童が6%なのに対して，29年度は約21%になっています。これは，京都府や全国に比べても多く，携帯電話やスマートフォンの普及が増加していると考えられます。学校では，今後もSNSを正しく利用できるように，『情報モラル』についての学習を行っていきますので，各ご家庭でも携帯電話やスマートフォンの使い方やルールについて，話題にしていきたいと思ひます。

## 全体を通した本校の成果と課題

本校では，「主体的に学習に取り組み，共に学び合い高め合う子」という研究テーマのもと，授業改善に取り組んでいます。特に今回の結果では，全体的な無回答率の低さから，「主体的な姿」についての成果が見られました。また，「話し合いにおける発言の意図を考える問題」や「求め方と答えを記述する問題」の結果からは，話し合う力や思考力，表現力など，本校が目指している力の育成について，成果が表れ始めているといえます。しかし，基礎・基本の問題（漢字や計算）を間違っている児童が見られるなど，課題も見られます。基礎・基本の定着は，学校全体の課題と捉え，今後ともご家庭と連携して，家庭学習の習慣化や繰り返し復習することに取り組みたいと思ひます。

## 保護者の皆様へ

全国調査は，子どもたちの学習状況を知り，子どもたちの可能性をさらに伸ばしたり，課題を解決したりしていくために実施しています。学力は，学校・家庭・地域での地道な積み重ねにより定着し，さらに伸びていくものです。また，望ましい生活習慣や日々の学習習慣は，確かな学力の基盤となります。今後とも引き続き，子どもたちの健やかな育ちと学びの環境づくりにご協力いただきますようお願いいたします。